

令和6年度 信学会昭和幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

はだしてジャンプ みんなのびのび アリンコ隊

～あーいいな愛の幼稚園～

2. 本年度の重点目標

<3つの重点> ①心も身体も元気いっぱい ②たのしい音楽遊び ③やさしい心と仲間づくり

<保育で育てたい子どもの姿>

- ・明るく元気な子
- ・優しく思いやりのある子
- ・お話が聞ける子
- ・お片付けする子
- ・決まりや約束を守る子
- ・ひたむきに頑張れる子
- ・きれいな言葉を大事にする子

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

1. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- (1) 園の雰囲気が良く先生方の教育方針がしっかりしている。子どもに寄り添った保育ができています。
- (2) 子どもの思いをくみ取った活動や遊びの展開がある。それによって、意欲的な取り組みが出来ている。
- (3) 行事がたくさんあり、いろんな経験をさせてもらえる。音楽会や運動会など真剣に取り組む育っている。
- (4) ルールを守ったり、良い言葉を使えたりする子どもたちを育てて欲しい。
- (5) 引き続き子どもたちの安心・安全（感染症対策、日々の怪我等）が確保できるように、丁寧な運営管理を大事にしてほしい。

2. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 温かい雰囲気の園づくりへの信頼があり、評価は高かった。更に温かい雰囲気を大切にしたい。今後も保護者との関係づくりに努めたい。やはり、保育者の指導力を高めることが子どもを育てることに繋がる為園内研修の更なる充実を図ると共に、気軽に保育について語り相談し合う機会を大事にしたい。
- (2) 家庭との連携を大切に、子どもの成長をラーニングストーリー、学級・学年だより、園長だより等で発信。
- (3) 歌の大好きな子どもたち、歌声が輝く園にしたい。その為に、音楽集会やお部屋での音楽活動の充実を図ると共に、「園長先生と歌って遊ぼう」の企画を年3回実施予定。5月、7月、12月。
- (4) 「あーいいな愛の園」YATA（やったー）保育を更に大切に、子どもの心根を大事にする。
- (5) 認定こども園への移行に伴い、更に園公開など魅力ある企画を工夫し、園児募集の充実を図る。